

会議報告書

件名	第1回常滑市中学校制服のあり方検討委員会
実施日	令和3年11月9日(火) 15時30分から16時30分
場所	市役所5階第7会議室
出席者	委員：青海中学校長、鬼崎中学校長、常滑中学校長、南陵中学校長 教頭会長、市PTA連絡協議会長、市PTA連絡協議会母親代表 市子どもを守る会連絡協議会長、 教育長、教育委員2名 教育委員会：教育部長、学校教育課長、学校教育課付課長、 (事務局) 学校教育課主査

1 教育長あいさつ

本検討委員会の委員を引き受けていただきありがとうございます。私の認識としては、今回、制服の検討をするきっかけとなったのは「多様性やジェンダーレスの尊重」だと思っております。ぜひ、皆様とともに慎重に議論し、中学生にとって良いものにしたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。

2 会議の主な内容

次のことについて情報共有し、意見交換のみを実施。

- ・制服の歴史と制服ブレザー化の動向
- ・児童生徒及び保護者アンケート 集計結果
- ・他市町の事例紹介、制服導入方式の特徴
- ・今後のスケジュール

【意見交換】

委員 A: 冬場の女子を見ると寒そうにしているのので、そうした時にズボンの選択ができるといいなと思いました。

委員 B: ある中学校の生徒会が独自で制服に関する調査をしましたが、結果はだいたい教育委員会で実施したものと同じでした。

尾張の生徒指導に関する会議に出席した際の情報ですが、名古屋の学校で独自にブレザーを導入することになって、先生が忙しくて大変だったと聞きました。検討する際には、先進事例を参考にして進めていければと思います。

委員 C: 教育委員会主導で検討していただくのは有り難いと思っております。制服については検討しなければいけない時代だと思っておりますし、メディアで話題になっているためか、保護者からも制服について聞かれることがあるため、関心が高まってきていると感じます。高校における制服変更の事例もありますので、そちらも参考にしながら進めてもらいたいと思っております。

委員 D：ブレザー導入にあたっては生徒たちも関わりが持てるといいし、なるべく価格も安くできるといいと思います。

委員 E：女子でスカートを着用することがつらいという相談を受けたことがあり、その時は中学校と相談しながら、式はスカート、普段はジャージという形で配慮することになりました。ジェンダーレスの観点からも、導入を進めてほしいと思っています。

委員 F：半田市が予定している「現在の制服＋ブレザー」のように「選択できる」ことが子どもたちにとっては重要なのではないかと思います。あとは価格面の問題が解消できればいいと思います。

委員 G：現在の制服とブレザーを選択できる場合は、少数が目立たないような配慮も必要だと思います。詰襟の学生服を着ている女子もいると聞いたことがあります。

委員 H：その日の活動によって、スラックスとスカートを使い分けているという事例を聞いたことがあります。個人的には、ブレザーを導入するなら、移行期間を設けた上で、スラックスとスカートを選択できる形が好ましいと思います。

委員 I：今のところ賛成か反対かの判断はできませんが、児童生徒のアンケートの「賛成」が6割というのは若干少ないように思います。今後、情報収集をしながら判断していきたいと思っています。

委員 J：自分の息子は学校を卒業したので、ブレザー導入の是非については判断しづらいですが、今の子どもたちにとって良い結果になるような意見を尊重したいと思います。

以上